

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
53131	事業系廃棄物適正処理事業	環境部	廃棄物対策課	シートB	2
53131	廃棄物適正処理事業(廃棄物処理業等許可)	環境部	廃棄物対策課	シートB	4
53131	廃棄物適正処理事業(PCB)	環境部	廃棄物対策課	シートB	6
53131	廃棄物適正処理事業(不法投棄・野外焼却)	環境部	廃棄物対策課	シートB	8
53231	産業廃棄物最終処分場支障等除去事業	環境部	廃棄物対策課	シートB	10

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	廃棄物処理業許可担当	連絡先	948-6959				
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	門屋 充哲	リーダー名	主幹	中矢 雄次	担当者名	主任	瀬戸丸 崇	主任	渡邊 晃丈
令和元年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	廃棄物処理業許可担当	連絡先	948-6959				
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	田岡 伸一	リーダー名	主幹	中矢 雄次	担当者名	主任	岩崎 孝彦	主任	佐伯 弘幸

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	53131	事業系廃棄物適正処理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する			重点プロジェクト	-	
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約			
取り組みの柱	適正処理の徹底					
総合戦略	基本目標			取組み		
	政策				(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	施策					
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令, 条例, 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例					
事業の目的(どのような状態にするか)	市内の事業所に、事業系廃棄物の分別及び減量・再資源化等に関する啓発を実施し、適正処理の確保を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、事業者はその事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理する責務がある。市は、廃棄物の分別、処理業者への委託契約の締結状況等を確認することを通じて、事業者による適正処理の確保を図る必要がある。また、事業者が遵守すべき事項は法改正に伴って増加してきており、それらの周知・徹底も必要となっている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市内で事業活動を行っている事業者に対して、 ・事業所から排出される廃棄物の分別の徹底、廃棄物の適正処理等について掲載した「事業者用ごみ分別はやわかり帳」等の送付による周知啓発の実施 ・「事業系一般廃棄物減量等計画書」の提出要件に該当する事業者に計画書の提出を求め、廃棄物減量への取り組み等を確認 ・「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」の提出義務のある事業者に報告書の提出を求め、産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付状況を確認 ・「産業廃棄物処理計画書」等の提出義務のある多量排出事業者に計画書等の提出を求め、廃棄物の処理状況等を確認 ・排出事業者への廃棄物の保管及び処理状況に関する立入検査の実施及び各種団体等への説明会の開催					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	衛生費	項	清掃費	目	減量対策費	R元 予算措置時期		当初
									R元	R2年度	
				H30年度			R元年度		R2年度		
現計予算額(A) (単位:千円)				5,093			4,742		7,881		
決算額(B) (単位:千円)				3,715			3,635				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳		国支出金	0			0		0			
		県支出金	3,565			3,477		7,664			
		市債	0			0		0			
		その他	0			0		0			
		一般財源	150			158		217			
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算					需用費564千円 役務費2,139千円 委託料653千円		需用費554千円 役務費6,778千円 委託料240千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			1,378			1,107				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>「事業系ごみ適正処理シリーズ」のリーフレットの作成及び事業者への送付による廃棄物の適正処理の周知</li> <li>事業者への廃棄物の保管及び処理に関する立入検査の実施</li> <li>各種団体等への説明会の開催</li> </ul>					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	・事業者への立入検査や各種団体への説明会の開催によって、廃棄物の適正処理についてより詳しく説明等を行うことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	ごみ排出量を減らすためには、事業系廃棄物の適正処理等が推進されたこともその一助となっているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人事業主や小売店等の比較的小規模な事業者では、廃棄物の適正処理に関する認識が低い傾向にある。</li> <li>令和2年度から特別管理産業廃棄物を多量に排出する事業者は、処理を委託する際、電子マニフェストの使用が義務化された。</li> </ul>					
R2年度の目標	・事業者が排出する廃棄物の適正処理を推進する。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「排出事業者向け適正処理啓発映像」を活用し、講習会等で周知・啓発を図る。</li> <li>「事業系一般廃棄物減量等計画書」,「産業廃棄物処理計画書」等による取り組み,「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」の確認</li> <li>排出事業者への廃棄物の保管及び処理に関する立入の実施</li> <li>電子マニフェストに関する周知の実施</li> <li>事業系ごみ分別はやわかり帳(改訂版)の発行</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「事業系ごみ適正処理シリーズ」のリーフレットや、「事業系ごみ分別はやわかり帳」を小規模な事業者等に配布することで、周知・啓発を強化し、廃棄物の適正処理を推進する。</li> <li>令和2年度に義務化対象となる事業者は、電子マニフェストへの加入を完了しているが、今後も電子マニフェストの普及のため、配布物や講習会等で周知・啓発を継続する。</li> </ul>

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	①啓発リーフレット(事業系ごみ分別はわかり帳)の作成及び配布	件	目標値	20,000	21,500	21,000	21,000	21,000	目標値	21,000	
			実績値	17,669	19,741	18,336			達成年度		
		%	達成度	88	92	87					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	環境総合計画の目標値の達成に加え、周知できていない事業者を新たなデータを活用して抽出し、可能な限り多くの事業者に周知する。				
	本指標の設定理由	環境総合計画に設定されている指標のため									
	②排出事業者立入検査回数	回	目標値	48	70	75	75	75	目標値	75	
			実績値	68	72	67			達成年度		
		%	達成度	142	103	89					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	立入検査を計画的に実施し、不適正処理発生の防止に繋げる。				
	本指標の設定理由	不適正処理を防止する取組みを示す数値であるため									
成果指標 (3つまで設定可)	①事業系一般廃棄物減量等計画書の回収率	%	目標値	85	85	85	85	85	目標値	85	
			実績値	81	77	78			達成年度		
		%	達成度	95	91	92					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	過去の最高値を目標とする。				
	本指標の設定理由	事業系一般廃棄物の処理状況の把握に最も適しているため									
	②対象各事業所が廃棄物の減量計画書を作成することにより、ごみ減量や再資源化の意識が向上し、廃棄物の減量につながっている。	%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	①広く事業者へ周知・啓発を行うことができた。 ②事業所への立入検査を実施したところ、複数回の指導を要する事業者が多かったことから、目標値は達成できなかったが、廃棄物の適正処理について直接指導等を行うことができた。									
	成果指標	①対象各事業所が廃棄物の減量計画書を作成することにより、ごみ減量や再資源化の意識が向上し、廃棄物の減量につながっている。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	廃棄物処理業許可担当	連絡先	948-6912				
	部長名	藤本 則彦	課等長名	門屋 充哲	リーダー名	主幹	中矢 雄次	担当者名	主査	宇野 克之	主査	八東 陽介
令和元年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	不法投棄対策担当	連絡先	948-6913				
	部長名	藤本 則彦	課等長名	田岡 伸一	リーダー名	副主幹	堀田 英志	担当者名	副主幹	宇津見 卓二	主任	佐伯 弘幸

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	53131	廃棄物適正処理事業(廃棄物処理業等許可)					事業性質	2:その他	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	豊かな自然と共生する						重点プロジェクト	-		
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進						主な取り組み	-		
主な取り組み	ごみの適正処理の推進					市長公約				
取り組みの柱	適正処理の徹底									
総合戦略	基本目標					取り組み				
	政策									
	施策									
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し					

根拠法令, 条例, 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例									
事業の目的(どのような状態にするか)	・廃棄物処理業及び廃棄物処理施設設置の許可業務に関し, 処理業者の指導・監督を行うことで, 廃棄物の適正処理を確保し, 市民の生活環境向上に寄与する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	・産業廃棄物処理業等の許認可業務が, 平成10年4月1日に愛媛県から移譲されたことに伴い, 許可業者等の指導・監督業務が必要となったもの									
対象・事業内容(誰に対して, 何をやるのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物(一般廃棄物及び産業廃棄物)処理業者に対して, 立入検査や講習会等を実施する。</li> <li>・産業廃棄物処理業者に対して講習会を開催し, 廃棄物の基礎的知識, 専門的知識及び技能を習得させるため, 一般社団法人えひめ産業資源循環協会へ委託料を支出する。</li> <li>・排出事業者が産業廃棄物の処理委託先を選定する際, 容易に処理業者の情報に接することができるよう作成した廃棄物許可業者検索サイトの維持管理をするため, 維持管理等業者へ委託料を支出する。</li> <li>・松山市廃棄物処理施設審議会(専門部会含む)を開催し, 廃棄物処理施設の設置等に関する専門的事項を調査審議する。</li> <li>・廃棄物行政担当職員に対して, 講習会を実施する。</li> </ul>									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合, 基準や金額等		「無し」の場合, その理由				
始期・終期(年度)	令和 4		終期の種別		2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	衛生費	項	清掃費	目	減量対策費	R元	予算措置時期	当初
				H30年度			R元年度		R2年度		
現計予算額(A) (単位:千円)				18,486			19,256		20,295		
決算額(B) (単位:千円)				13,557			13,256				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0			0		0		
	県支出金			12,863			11,782		14,594		
	市債			0			0		0		
	その他			694			1,474		1,247		
	一般財源			0			0		4,454		
主な経費(単位:千円) ※R元→決算, R2→予算				需用費751千円 委託料7,163千円 使用料及び賃借料146千円			需用費1,025千円 委託料10,359千円 使用料及び賃借料158千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越, 補正, 流用, 事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			4,929			6,000				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため, 実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理業者等への立入検査の実施及び指導監督を行った</li> <li>・産業廃棄物処理業者を対象とした講習会を委託により開催した</li> <li>・松山市西垣生町で更新が計画されている産業廃棄物焼却施設及び松山市菅沢町の産業廃棄物最終処分場に関することをテーマとして松山市廃棄物処理施設審議会(専門部会含む)を開催した</li> <li>・廃棄物処理業者検索サイトの維持管理及び更新を委託により行った</li> <li>・廃棄物行政担当職員の技能・知識の向上のため, 行政職員対象の研修会等を毎年開催している一般財団法人日本環境衛生センターに委託し講習会を開催した</li> </ul>												
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点, 悪かった点など			・廃棄物処理業者への計画的な立入検査や講習会の開催により, 業者による大規模な不適正処理は防止されている。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		・不適正処理を防止することで, 市民の生活環境の向上を図ることができるため。								
事業の公共性	必要性	1		1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2		1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R元年度終了までに把握している環境の変化, 障害, 課題となっている事項	・これまで廃棄物行政担当職員に対する講習会を委託にて実施していたが, 実施から5年が経過し, 講習会を開催するためのノウハウ等が職員に蓄積された。												
R2年度の目標	・廃棄物処理業者等による廃棄物の適正処理を確保する。			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理業者等への立入検査の実施及び指導監督</li> <li>・産業廃棄物処理業者を対象とした講習会の開催</li> <li>・松山市廃棄物処理施設審議会の開催</li> <li>・廃棄物処理業者検索サイトの維持管理及び更新</li> <li>・自治体職員向け講習会の開催</li> </ul>			特に環境変化, 障害, 課題等解決のため, R2年度で取り組み改善策		・廃棄物行政担当職員に対する講習会の委託を見直し, 直接企画運営する。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	①産業廃棄物処理業者等立入検査回数	回	目標値	200	200	280	280	280	目標値	280	
			実績値	199	195	280			達成年度		
			% 達成度	99	98	100					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	立入検査を計画的に実施し、指導を行うことで、不適正処理の防止に繋げる。			
	本指標の設定理由	不適正処理を防止する取組みを示す数値であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	①廃棄物処理業者等の指導件数	件	目標値	30	22	15	15	15	目標値	15	
			実績値	13	8	12			達成年度		
			% 達成度	43	36	80					
	指標の種類	6:現状維持を目指す指標(減を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	業者指導により、優良な業者を育成し、件数を減少させていく。			
	本指標の設定理由	業者指導により、廃棄物の不適正処理を削減することが目的であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	年度初めに立入検査の計画を立て、計画通り立入検査を実施することができた。									
	成果指標	業者に対する立入検査の強化により、廃棄物処理業者の指導件数は、目標値以内に抑えることができた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	廃棄物処理業許可担当	連絡先	948-6959			
	部長名	藤本 則彦	課等長名	門屋 充哲	リーダー名	主幹	中矢 雄次	担当者名	主任	佐伯 弘幸	
令和元年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	不法投棄対策担当	連絡先	948-6913			
	部長名	藤本 則彦	課等長名	田岡 伸一	リーダー名	副主幹	堀田 英志	担当者名	副主幹	宇津見 卓二	主任 佐伯 弘幸

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	53131	廃棄物適正処理事業(PCB)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	豊かな自然と共生する					重点プロジェクト	-		
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	ごみの適正処理の推進				市長公約				
取り組みの柱	適正処理の徹底								
総合戦略	基本目標	-				取り組み	-		
	政策	-					(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無		
	施策	-					-		
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律, ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法								
事業の目的(どのような状態にするか)	・PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物に関して, 市内の保管事業所等に対し周知・啓発を行い, PCB特措法で定められた期間内での適正処理を促進し, 市民の生活環境向上に寄与する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	・PCB廃棄物の適正処理を推進するため, 平成13年に「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」が施行され, 一定濃度のPCBを含む廃棄物については, 定められた期間内に事業者による適正処理が義務付けられた。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	・PCB特別措置法に基づき, PCB保管事業者等届出書の提出対象となっている市内の事業者に対して, 立入検査を実施。 ・市内の事業所等に対し, PCB廃棄物保有の有無等に関する調査を実施するため, 調査業務委託先へ委託料を支出。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	令和 9		終期の種別		2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				衛生費	項	清掃費	目	減量対策費	R元
現計予算額(A)(単位:千円)						165		11,489	4,663
決算額(B)(単位:千円)						101		9,169	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳		国支出金				0		0	0
		県支出金				101		8,298	3,403
		市債				0		0	0
		その他				0		871	221
		一般財源				0		0	1,039
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算							役員費569千円 委託料8,510千円	役員費201千円 委託料4,369千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				64		2,320	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・PCB廃棄物保管事業者への立入検査の実施 ・PCB廃棄物の掘り起し調査の実施								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		・掘り起し調査の実施により,新たにPCB廃棄物の保管事業者等が確認された。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		・PCB廃棄物の適正処理を進めることで,市民の生活環境の向上を図ることができるため。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・高濃度PCB使用安定器の処理期限が令和2年度までとなっている。								
R2年度の目標	・PCB廃棄物の適正処理を進める。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		・PCB廃棄物保管事業者への立入検査の実施 ・PCB廃棄物の掘り起し調査フォローアップの実施		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		・令和元年度に実施した掘り起し調査のフォローアップ調査を実施し,保管事業者等を確認した場合,期限内の処理を指導する。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	①PCB廃棄物の保管および処分状況等届出数	件	目標値	200	200	200	130	125	目標値	0	
			実績値	209	203	141			達成年度	R9年度	
			% 達成度	104	101	71					
	指標の種類	2:単年度での減少を目指す指標									
	本指標の設定理由	PCB特措法により処理期限が定められているため。					最終目標値の設定の考え方	PCB特措法により低濃度PCB廃棄物の処理期限が令和8年度末までとなっていることから、PCB廃棄物の保管および処分状況等の届出が令和9年度にあるため。			
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類										
	本指標の設定理由						最終目標値の設定の考え方				
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		% 達成度									
指標の種類											
本指標の設定理由						最終目標値の設定の考え方					
成果指標 (3つまで設定可)	①PCB廃棄物の処理事業者数	件	目標値	100	100	100	100	100	目標値	0	
			実績値	44	70	47			達成年度	R9年度	
			% 達成度	44	70	47					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標									
	本指標の設定理由	PCB特措法による処理期限までに適正処理を完了させるため。					最終目標値の設定の考え方	PCB特措法により低濃度PCB廃棄物の処理期限が令和8年度末までとなっていることから、PCB廃棄物の保管および処分状況等の届出が令和9年度にあるため。			
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類										
	本指標の設定理由						最終目標値の設定の考え方				
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		% 達成度									
指標の種類											
本指標の設定理由						最終目標値の設定の考え方					
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	高濃度PCB使用安定器の処理期限が令和2年度までとなっていることから、平成30年度から令和元年度にかけて適正処理が進み、実績値を減少させることができました。									
	成果指標	PCB廃棄物を処理する費用は高額であることから、低濃度PCB使用機器を保有する事業者の多くは令和8年度の処理期限間際まで機器を使用または保有することが想定されるため、現時点では処理実績が少なくなっているものと考えられる。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	不法投棄対策担当	連絡先	948-6913				
	部長名	藤本 則彦	課等長名	門屋 充哲	リーダー名	副主幹	堀田 英志	担当者名	主任	本田 高士		
令和元年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	不法投棄対策担当	連絡先	948-6913				
	部長名	藤本 則彦	課等長名	田岡 伸一	リーダー名	副主幹	堀田 英志	担当者名	副主幹	宇津見 卓二	主任	佐伯 弘幸

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	53131	廃棄物適正処理事業(不法投棄・野外焼却)					事業性質	2:その他	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	豊かな自然と共生する						重点プロジェクト	-		
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進						主な取り組み	-		
主な取り組み	ごみの適正処理の推進					市長公約				
取り組みの柱	適正処理の徹底									
総合戦略	基本目標	-				取り組み	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律									
事業の目的(どのような状態にするか)	・不法投棄や野外焼却の監視及び未然防止に関し、パトロールの強化・監視カメラの設置等を行うことで、廃棄物の適正処理を確保し、市民の生活環境向上に寄与する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	・廃棄物の不法投棄等が社会問題化し、その対策として、監視パトロールの実施や監視カメラの設置及び警察等との連携による不法投棄等の対策強化が必要となったもの									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・不法投棄や野外焼却の監視及び未然防止するため、監視パトロール及び指導・啓発を実施									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	令和 4			終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	衛生費	項	清掃費	目	減量対策費	R元 予算措置時期		当初
									R元	R2年度	
				H30年度			R元年度		R2年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				46,145			43,138		39,309		
決算額(B)(単位:千円)				41,046			36,403				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0			0		0		
	県支出金			39,972			32,943		28,689		
	市債			0			0		0		
	その他			1,074			3,460		1,861		
一般財源			0			0		8,759			
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算				需用費1,977千円 委託料5,398千円 使用料及び賃借料2,246千円			需用費3,158千円 委託料6,600千円 使用料及び賃借料2,256千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			5,099			6,735				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員による不法投棄等監視パトロールの実施</li> <li>委託による不法投棄等監視パトロールの実施</li> <li>スカイパトロールの実施</li> <li>不法投棄防止合同啓発活動の実施</li> </ul>										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など		・不法投棄防止合同啓発活動については、これまで車列によるパレードを行っていたが、より市民に対し周知・啓発するため、商店街で啓発パレードを行った。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			・不法投棄や野外焼却を防止することで、市民の生活環境の向上を図ることができるため。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・同一箇所でも不法投棄事案が複数回発生している。										
R2年度の目標	・廃棄物の不法投棄等による不適正処理の防止			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)			<ul style="list-style-type: none"> <li>職員による不法投棄等監視パトロールの実施</li> <li>委託による不法投棄等監視パトロールの実施</li> <li>スカイパトロールの実施</li> <li>不法投棄防止合同啓発活動の実施</li> </ul>		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		・同一箇所でも不法投棄事案が複数回発生する現場に対し、監視カメラの移設を検討・実施する。



【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	①不法投棄対応件数	件	目標値	170	210	203	195	190	目標値	185	
			実績値	247	162	176			達成年度		
			% 達成度	145	77	87					
	指標の種類	6:現状維持を目指す指標(減を良しとする)						最終目標値の設定の考え方	本来ゼロであることが望ましいが、年々減少させていくことが現実的であるため		
	本指標の設定理由	本事業での活動を示す指標であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類							最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	①不適正処理指導件数	件	目標値	30	34	38	39	39	目標値	39	
			実績値	15	24	18			達成年度		
			% 達成度	50	71	47					
	指標の種類	6:現状維持を目指す指標(減を良しとする)						最終目標値の設定の考え方	不適正処理の根絶が困難な中で、継続的に取り組み、大幅な増加を抑止する。		
	本指標の設定理由	事業実績を表す数値として適しているため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類							最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	不法投棄対応については、市民の環境意識の向上等による通報等の増加により、対応件数が増えたが目標値以内に抑えることができた。									
	成果指標	不適正処理指導については、行為者追及を継続して行うことなどにより、件数の増加を抑えることができた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	不適正処理事業対策担当	連絡先	948-6624				
	部長名	藤本 則彦	課等長名	門屋 充哲	リーダー名	副主幹	徳永 努	担当者名	副主幹	汐見 不二雄	主査	村上 太郎
令和元年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	不適正処理事業対策担当	連絡先	948-6624				
	部長名	藤本 則彦	課等長名	田岡 伸一	リーダー名	副主幹	徳永 努	担当者名	主査	汐見 不二雄	主査	村上 太郎

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	53231	産業廃棄物最終処分場支障等除去事業					事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	1:直営		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	豊かな自然と共生する						重点プロジェクト	-				
施策	環境保全・配慮型まちづくりの推進						主な取り組み	-				
主な取り組み	環境汚染の抑制					市長公約						
取り組みの柱	環境基準の達成											
総合戦略	基本目標	-					取組み	-				
	政策	-						(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無				
	施策	-						-				
総合計画の実施計画掲載有無(R元)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等												
廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法												
事業の目的(どのような状態にするか)	民間の産業廃棄物最終処分場の不適正処理事業に関して, 行政代執行により計画的に対策工事等を実施するなど, 生活環境保全上の支障のおそれを除去し, 市民の安全・安心を確保していく。											
背景(どのような経緯で開始したか)	民間の産業廃棄物最終処分場で不適正処理が行われ, 廃棄物の流出等の生活環境保全上の支障のおそれが生じた。そこで, 市は松山市廃棄物処理施設審議会を設置するとともに, 支障除去等実施計画を策定し, 平成25年4月9日付で環境大臣の同意を得たことから, 国の支援の下, 計画的に対策工事等を実施することとなった。											
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	民間の産業廃棄物最終処分場(松山市青沢町甲720番外)で生じた生活環境保全上の支障のおそれを除去するため, 行政代執行を行い, 当該処分場設置者に対して費用求償等の責任追及を行う。											
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由								
始期・終期(年度)	平成	25	～	令和	2	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般		衛生費	項	清掃費	目	廃棄物対策費	R元	予算措置時期	当初	
		款	目									
H30年度												
R元年度												
R2年度												
現計予算額(A)(単位:千円)						1,977,805		92,931			90,961	
決算額(B)(単位:千円)						1,867,623		92,931				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳		国支出金		0				0			0	
		県支出金		0				0			0	
		市債		1,662,500					73,700			75,300
		その他			5,442							0
		一般財源		199,681				19,231			15,661	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						・役務費15,130千円 ・需用費16,510千円 ・委託料48,176千円				・役務費15,740千円 ・需用費15,540千円 ・委託料48,776千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				110,182		0				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対策工事後,工事品質の確認のためのモニタリングを行い, 事業実施計画の目標を達成する状況であるか確認した。</li> <li>原因者に対する責任追及を行った。</li> <li>再発防止策の履行状況を審議会に報告した。</li> </ul>										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		・工事が早期完成したことで,工事品質確認のためのモニタリングに着手でき, 令和元年度は所定のモニタリングを予定どおりに進めることができ, 産廃特措法事業として行う令和2年度までのモニタリングや, 処分場廃止までのモニタリング, 維持管理の方向性を審議会からお示しいただいた。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により, 生活環境が保全がされ, 市民の安全・安心が確保された。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	産廃特措法事業が令和2年度に終了した後も, 処分場は廃止基準に適合するまで(維持管理の必要がない程度に無害化するまで)長期にわたり継続する必要がある。したがって, 長期的に対応できる組織体制を構築し, 維持する必要がある。										
R2年度の目標	・産廃特措法事業として最終年度となることから, 当初の目標(事業実施計画上の目標)を達成しているか否か, モニタリング結果等を精査し, 専門家の評価を得る。 ・特措法事業が完了した後も維持管理を継続するが, 最終的な代執行終了までの管理方針を策定し, 専門家の評価を得る。 ・原因者への責任追及や再発防止策等についても専門家の評価を得る。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		・長期にわたる事業の指針とするため, 左記の内容について, 事業全体をアーカイブ化した上で, 審議会の答申を得る。		特に環境変化, 障害, 課題等解決のため, R2年度で取り組む改善策		・産廃特措法事業終了後の処分場の長期にわたる管理方針は, 審議会答申として示される。 ・新型コロナウイルス感染症の第二波の感染拡大が懸念される中でも, 書面やWEBを利用した会議形式を導入し, 確実に審議会等を開催する。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	①廃棄物等の流出防止と斜面崩壊防止の確認のためのモニタリング	回	目標値	12	12	12	7	-	目標値	7	
			実績値	12	12	12			達成年度	R2年度	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	工物品質を確認するため工事完成(H30.10)から2年間モニタリングの必要がある。よって令和2年度には、10月末で工物品質確認のためのモニタリングが終わるため4月から10月まで毎月1回のモニタリングを行うものとして設定				
	本指標の設定理由		産廃特措法に基づく事業実施計画で示した目標(廃棄物流出防止と斜面崩壊防止)を達成するためのモニタリングの回数であるため								
	②地元説明会の開催回数	回	目標値	2	2	2	2	-	目標値	2	
			実績値	2	2	3			達成年度	R2年度	
		%	達成度	100	100	150					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	実施計画最終年度において、地元住民に当該事業を理解してもらうために必要な回数とする。				
	本指標の設定理由		地元の理解を得ながら事業をするための指標となるため								
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	①廃棄物等の流出防止と斜面崩壊防止	%	目標値	-	流出・崩壊がないこと	流出・崩壊がないこと	流出・崩壊がないこと	-	目標値	達成	
			実績値	-	達成	達成			達成年度	R2年度	
		%	達成度	-	100	100					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	事業実施計画では廃棄物の流出と斜面崩壊を防止することを目標としていることから、事業最終年度において、この目標が達成されることを最終目標値とする				
	本指標の設定理由		事業実施計画では廃棄物の流出と斜面崩壊を防止することを目標としているためこれが達成されることで市民の安全・安心を確保できる。								
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
		本指標の設定理由									
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	処分場の上下流の地下水、浸出水、保有水、放流水等の水質検査や処分場の斜面傾斜の状況を毎月確認することができた。地元説明会は、事業の進捗状況を説明するとともに、住民からの疑問にも答えることで理解を得ることができた。									
	成果指標	廃棄物の流出や斜面の崩壊のおそれが見られないなど、対策工事の効果を確認することができ、市民の安全安心の確保に資することができた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											